

ドラえもののタイムマシン（人のために自分の時間を使う）

いよいよ今日から二学期です。

夏休みは楽しかったですか？ たくさんの思い出を作ることができたことと思います。

1学期の終わりに、校長先生はみなさんに、夏休みにはお出かけした先で出会った人や地域の方々に、たくさんあいさつしましょうとお話をしました。たくさんあいさつできましたか？ そして、あいさつ名人のみなさんには、金メダルをお渡ししました。あいさつ名人の人たちは、夏休みもきっとたくさんあいさつができたことと思います。

さて、校長先生の二学期の最初のお話は……………これです。

わかりますか？そうです。ドラえもののタイムマシンですね。今日はこのお話をします。

この話は、のび太くんが、溜めこんでいた宿題を明日の朝までにやってほしいとドラえものに頼みこむところから始まります。どら焼きに釣られて宿題を引き受けてしまったドラえもんですが、朝までに宿題をやるのは大変。そこで、タイムマシンを使って未来の自分を連れてくることにします。大人数（自分の分身）で取り組みれば、宿題もすぐ終わるというわけです。ドラえもんはタイムマシンで2時間後、4時間後、6時間後、8時間後の自分を連れてきて、その5人で宿題に取り組みます。ほどなく宿題は終わったのです。



しかし、そのあとが大変。終わったと思って、安心して寝ついたところに、2時間前のドラえもんが呼びにきます。また宿題が終わって元の時間に戻ったと思ったら、今度は4時間前のドラえもんが呼びにくる……………というわけです。

「あらあら大変」と思いながらも、校長先生はドラえもんは偉いなあと思いました。なぜなら、「人のために、自分の時間を使っている」からです。

皆さんは、1日のうちどれくらいの時間を「他の人のために」使っているでしょうか。

例えば、1学期、休み時間に校庭で転んでケガをした友だちに手をかして、保健室まで連れて行ってくれた人がいました。友だち思いですね。休み時間がそのためになくなって、ちょっぴり残念ではあるけれど、その人は自分の大事な時間を友だちのために使いました。

「自分のために時間を大事に使うこと」はとても大切なことです。でも、「人のために自分の時間を使うこと」も、とても大切なことです。

あいさつも、自分の時間を相手のためにつかうことなんです。

そんな時間の使い方をしていくと、「心が豊かな人」になるのです。

これから始まる、2学期、どれだけ他の人のために自分の時間を使うことができるか、チャレンジしてみてください。